

製品名: インスリン R (リン酸化 Thr1375) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04846**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,ELISA |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | リン酸化 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000 |
| 分子量 | 130kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | INSR |
| 別名 | INSR; Insulin receptor; IR; CD antigen CD220 |
| 遺伝子 ID | 3643.0 |
| SwissProt ID | P06213 |
| 免疫原 | 抗血清は、Thr1375 のリン酸化部位周辺のヒト IR 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1331-1380 |

背景

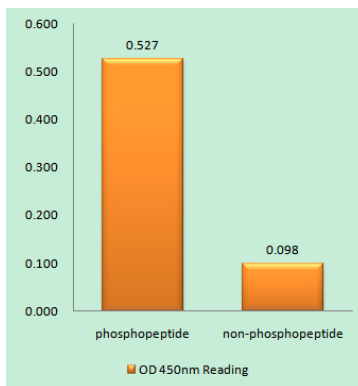
この受容体はインスリン様成長因子 (IGF) と高い親和性で結合する。チロシンキナーゼ活性を有する。IGF I 受容体は形質転換におい

で重要な役割を果たしている。前駆体の切断により α サブユニットと β サブユニットが生成される。ほとんどの悪性組織で過剰発現しており、細胞生存を促進することで抗アポトーシス剤として機能している。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つかっている。[RefSeq 提供、2014年5月]

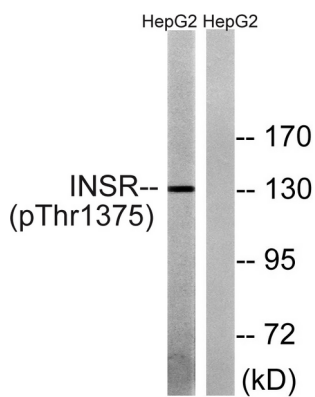
研究分野

アクチンダイナミクスの制御; インスリン受容体; AMPK; 接着結合

画像データ



IR (リン酸化 Thr1375) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定法 (リン酸化 ELISA)



IR (リン酸化 Thr1375) 抗体を用いた HepG2 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。